

ProMED-mail 情報 2017年10月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
27日	流行性耳下腺炎 米国（ハワイ）	今年ハワイ州で流行中。8月24日以後216例増加。州全体の報告数は現在500例で、409例はホノルル市。昨年度の州全体の報告数は10例。
22日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	カラチ市で新たに男性1名がクリミア・コンゴ出血熱に感染し、ジンナー大学院医療センターの隔離病棟に収容され、危険な状態。クエッタ市郊外で患者4人、カラチ市で1名の死亡を確認。
21日	ハンタウイルス感染症 パナマ	ロスサントス州保健当局によると20日、10歳児がハンタウイルス検査にて陽性。患児の状態は安定し、発熱症状が認められるがその後心肺症候群にいたる例もあるため、経過観察中。2017年の感染者数は19人。
17日	ブルセラ症 ネパール	この2ヶ月間で、少なくとも30人の発熱患者が、ブルセラ症検査で陽性となり、カトマンズ州の病院で治療中。
16日	鳥インフルエンザH5N1 インドネシア	バリ島でH5N1のアウトブレイクを確認。バリ島、バンジャールミングジール地区、ヌサペニダ島にて5名疑い、1名確定。2017年のバリ島における第1例目の鳥インフルエンザ患者。
15日	チクングニア熱 パキスタン	スワビ地区においてこれまでに、合計147例のチクングニア熱を確認、治療を受けた患者は51名。犠牲祭後で、カラチ市から祭典のために訪れた人々により持ち込まれたと考えられる。
14日	A型肝炎 米国	公衆衛生当局者とミシガン保健社会福祉省は、デトロイト市とマコーム郡、モンロー郡、オークランド郡、ウェイン郡と聖クレールでのA型肝炎例数の増加を確認。共通の感染源は無い。ミシガン州南東部において、2017年10月12日までの発症397例、そのうち入院320例(85.6%)、死亡15例(4.0%)。
12日	黄熱 ナイジェリア	2017年までに政府は全国的な黄熱予防接種を開始すると宣言。今年、10例の黄熱を確認。2017年10月より予防接種運動を開始。政府は大多数の未ワクチン国民に対する予防接種を計画。
11日	腸チフス フィジー	フィジー政府はモトゥリキ島における報告を観察。衛生チームは安全な水、下水設備、衛生を含む対策を講じ、政府より手洗い・安全な水貯蔵キットを配給。腸チフスと判断されたモトゥリキ在住、13名について治療が必要。大規模な集会は一時的に中止。
8日	マラリア カーボヴェルデ共和国	カーボヴェルデにおけるマラリアの地域内感染が増加しており、患者数が254例と2017年9月24日に報告。死者は1例のみ。7例の重症例と2例の妊婦感染例を報告。発生地域は首都プライアに局限。
7日	日本脳炎 香港	今年5例の地域感染。保健省は発生母地である水田などに夜明けから日没まで近寄らない、蚊を避けるよう市民に警告。発生数が極めて少ない香港において大規模予防接種を行うべきかは疑問。
2日	狂犬病 米国	ユタ州ソルトレイク市ウェスト高校でコウモリに暴露したヒトは少なくとも41人で、狂犬病暴露後予防の治療を受けていると保健当局が発表。この高校はコウモリの通り道になっており、校内でコウモリを確認。
1日	A型肝炎 米国	ニューヨーク州オールバニ群にて男性同性愛者にてA型肝炎が増加、今年初夏以後11例。2015年2例、2016年4例。予防として、ハイリスクの人は予防接種すべきと予防接種の実施に関する諮問委員会が推奨。欧州や全米においても発症しており、現在ワクチン不足が懸念されている。